

2024年度



J-クレジット制度 沖縄地域活用事例集



内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 エネルギー・燃料課

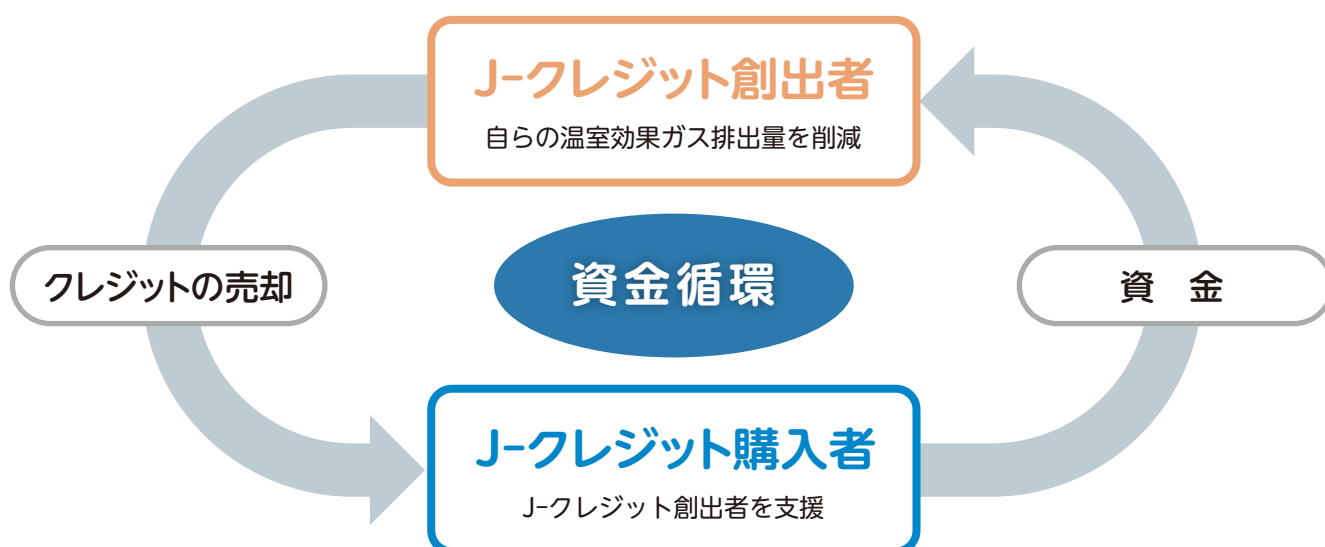
J-クレジット制度のご案内

1 J-クレジット制度の仕組み

J-クレジット制度は、省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用による温室効果ガスの排出削減量や適切な森林管理による温室効果ガスの吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

認証されたクレジットは、購入することができ、カーボン・オフセットや温対法・省エネ法での活用、CDP・SBT・RE100での報告に活用するなど、さまざまな用途に活用※できます。また、クレジットの購入代金はクレジット創出者に還元され、さらなるCO₂排出削減／吸収の取組や地域活性化等に活かすことができます。

※ クレジットの活用については p.9 を参照。



2 J-クレジット創出者のメリット

ランニングコストの低減

◎省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用によりランニングコストの低減やクリーンエネルギーの導入を図ることができます。

クレジット売却益

◎設備投資の一部を、クレジットの売却益によって補い、投資費用の回収やさらなる省エネ投資に活用できます。

PR効果

◎自主的な排出削減や吸収プロジェクトを行うことで、温暖化対策に積極的な企業、団体としてPRすることができます。

新たなネットワーク構築

◎クレジットの創出や売買を通して新しいネットワークの構築につながります。

組織内の意識向上

◎省エネの取り組みが数値として見える化でき、メンバーの意欲向上や意識改革にもつながります。

3 J-クレジット制度の対象となる事業

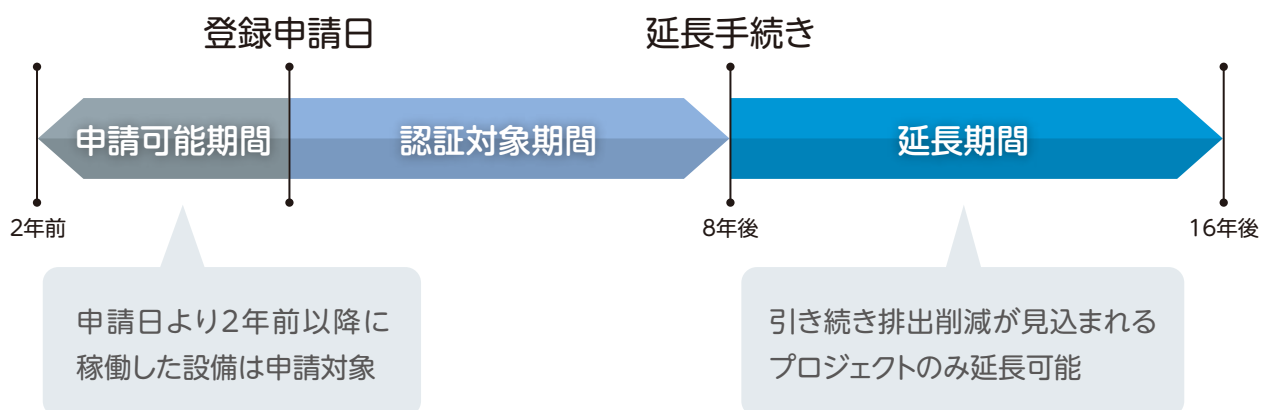
◆ プロジェクトの登録要件

- 日本国内で実施されること。
- プロジェクト登録申請日の2年前の日以降に稼働した設備が対象であること。
- 類似制度や本制度において、同一内容の排出削減プロジェクトが登録されていないこと。
- 排出削減のための設備投資回収年数が概ね3年以上であること(追加性を有すること)。
- 審査機関による第三者認証を受けていること。
- 本制度で承認された方法論に基づいていること。

◆ プロジェクトの対象期間

クレジットの認証対象期間はプロジェクト登録申請日またはモニタリング開始可能日のいずれか遅い日から8年間です。ただし、引き続き排出削減が見込まれるプロジェクトについては、さらに8年間(最大16年間まで)認証対象期間を延長することができます。

また、設備の更新などの排出削減をすでに実施済みの場合も、申請日から遡って2年前以降に実施されたものは、対象となります。



◆ プロジェクトの形態

プロジェクトの登録形態は「通常型」と「プログラム型」があります。プログラム型は削減・吸収活動を随時追加することができます。

通常型

基本的には1つの工場・事業所等における削減活動を1つのプロジェクトとして登録する形態。

プログラム型

家庭の屋根に太陽光発電設備を導入など、複数の削減・吸収活動を取りまとめ1つのプロジェクトとして登録する形態。小規模な活動からクレジットを創出することが可能となり、登録・審査の手続き、コストを削減することも可能となる。

方法論一覧

省エネルギー

- ・ボイラーの導入
- ・ヒートポンプの導入
- ・空調設備の導入
- ・照明設備の導入
- ・コージェネレーションの導入
- ・変圧器の更新
- ・外部の効率のよい熱源設備を有する事業者からの熱供給への切り替え
- ・未利用廃熱の発電利用
- ・未利用廃熱の熱源利用
- ・電気自動車又はプラグインハイブリッド自動車の導入
- ・ITを活用したプロパンガスの配送効率化
- ・ITを活用した検針活動の削減
- ・自動販売機の導入
- ・冷凍・冷蔵設備の導入
- ・ロールアイロナーの更新
- ・LNG 熱料船・電動式船舶の導入
- ・廃棄物由来燃料による化石燃料又は系統電力の代替
- ・ポンプ・ファン類の更新
- ・電動式建設機械・産業車両への更新
- ・生産設備(工作機械、プレス機械、射出成型機、ダイカストマシン、工業炉又は乾燥設備)の更新
- ・エコドライブを支援するデジタルタコグラフ等装置の導入及び利用
- ・テレビジョン受信機の更新
- ・家用発電機の導入
- ・屋上緑化による空調に用いるエネルギー消費削減
- ・ハイブリッド式建設機械・産業車両への更新
- ・天然ガス自動車の導入
- ・印刷機の導入
- ・サーバー設備の更新
- ・節水型水まわり住宅設備の導入
- ・外部データセンターへのサーバー設備移設による空調設備の効率化
- ・エコドライブ支援機能を有するカーナビゲーションシステムの導入及び利用
- ・海上コンテナの陸上輸送の効率化
- ・下水汚泥脱水機の更新による汚泥処理プロセスに用いる化石燃料消費削減
- ・共同配送への変更
- ・冷媒処理設備の導入
- ・省エネルギー住宅の新築又は省エネルギー住宅への改修
- ・ポルトランドセメント配合量の少ないコンクリートの使用
- ・園芸用施設における炭酸ガス施用システムの導入
- ・エネルギーマネジメントシステムの導入
- ・非再生可能エネルギー由来水素・アンモニア燃料による化石燃料等又は系統電力の代替
- ・水素燃料電池車の導入(非再生可能エネルギー由来水素利用)
- ・無溶剤型ラミネート装置の導入
- ・ボイラーへの膜分離装置の導入

再生可能エネルギー

- ・バイオマス固形燃料(木質バイオマス)による化石燃料又は系統電力の代替
- ・太陽光発電設備の導入
- ・再生可能エネルギー熱を利用する熱源設備の導入
- ・バイオ液体燃料(BDF・バイオエタノール・バイオオイル)による化石燃料又は系統電力の代替
- ・バイオマス固形燃料(廃棄物由来バイオマス)による化石燃料又は系統電力の代替
- ・水力発電設備の導入
- ・バイオガス(嫌気性発酵によるメタンガス)による化石燃料又は系統電力の代替
- ・風力発電設備の導入
- ・再生可能エネルギー熱を利用する発電設備の導入
- ・再生可能エネルギー由来水素・アンモニア燃料による化石燃料等又は系統電力の代替
- ・水素燃料電池車の導入(再生可能エネルギー由来水素利用)

工業プロセス

- ・マグネシウム溶解鑄造用カバーガスの変更
- ・麻酔用 N₂O ガス回収・分解システムの導入
- ・液晶 TFT アレイ工程における SF₆ から COF₂ への使用ガス代替
- ・温室効果ガス不使用絶縁閉鎖装置等の導入
- ・機器のメンテナンス等で使用されるダストブロー缶製品の温室効果ガス削減

農業

- ・牛・豚・ブロイラーへのアミノ酸バランス改善飼料の給餌
- ・家畜排せつ物管理方法の変更
- ・茶園土壌への硝化抑制剤入り化学肥料又は石灰窒素を含む複合肥料の施肥
- ・バイオ炭の農地施用
- ・水稻栽培における中干し期間の延長
- ・肉用牛へのバイパスアミノ酸の給餌

廃棄物

- ・微生物活性剤を利用した汚泥減容による、焼却処理に用いる化石燃料の削減
- ・食品廃棄物等の埋立から堆肥化への処分方法の変更
- ・バイオ潤滑油の使用

森林

- ・森林経営活動
- ・植林活動
- ・再造林活動

2024年7月時点。方法論は随時追加されますので、最新情報はJ-クレジット制度のホームページでご確認ください。



4 J-クレジットが発行されるまでの流れ

クレジットの認証・発行までには、プロジェクトの登録とモニタリング(削減量や吸収量の算定をするための計測等)の2つのステップがあります。

J-クレジット制度への参加にあたっては、クレジット創出者を技術的にサポートする支援を活用することができます。支援事業は国から委託された事業者が実施していますので、事業の詳細・活用については、内閣府沖縄総合事務局経済産業部エネルギー・燃料課*までお問い合わせください。

※裏表紙 問い合わせ先参照

ステップ 1 プロジェクトの登録

1-1 プロジェクト計画書の作成

「どんなCO₂排出削減／吸収事業(省エネ設備の導入、森林管理等)を実施するか」を記載した計画書を作成します。

※計画書の作成について支援(コーチング)を受けることができます。

※対応する方法論がない場合は、新しく方法論を策定する必要があります。

1-2 審査機関によるプロジェクト計画書の審査

「プロジェクト計画がJ-クレジット制度の規定に沿っているか」を審査機関が事前確認します。

※審査費用について支援を受けることができます。

1-3 プロジェクト計画登録申請

有識者委員会に諮り、国が正式にプロジェクトを登録します。

ステップ 2 モニタリングの実施

2-1 モニタリング報告書の作成

国に登録されたプロジェクト計画に基づき、排出削減量／吸収量を算定するための計測や実績を記録した「モニタリング報告書」を作成します。

※報告書の作成について支援(アドバイス)を受けることができます。

2-2 審査機関によるモニタリング報告書の検証

「モニタリング方法等がJ-クレジット制度の規定に沿って行われているか」を審査機関に事前確認してもらいます。

※審査費用について支援を受けることができます。

2-3 クレジット認証申請

J-クレジット事務局(制度管理者／委員会)にクレジットの認証を申請します。

クレジットの認証・発行

5 支援の対象事業者

- 中小企業基本法の対象事業者(みなし大企業であっても、法人単位で満たしていれば支援対象)
- 自治体 ●公益法人(一般/公益社団法人、一般/公益財団法人、医療法人、福祉法人、学校法人等)
- その他、大企業以外

J-クレジット創出モデルケース

ケース
CASE

1

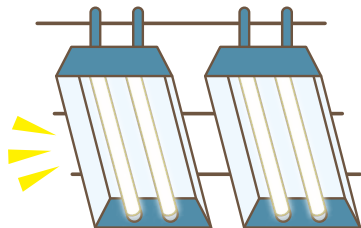
照明設備の導入

省電力の照明設備を導入することにより、電力の使用量を削減するプロジェクトです。

【適用条件】 ○更新前の照明設備又は標準的な照明設備よりも、省電力の照明設備を導入すること

更新前

条 件：100Wの蛍光灯 800台
稼働時間：3,600時間/年
消費電力：288,000kWh/年
排出係数：0.000438t-CO₂/kWh
年間排出量：126t-CO₂

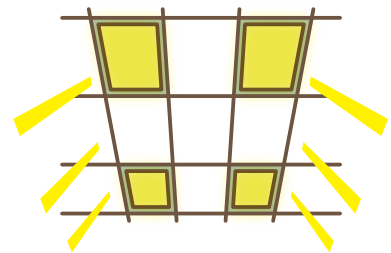


更新前の照明設備

プロジェクト実施後

条 件：20WのLED 800台
稼働時間：3,600時間/年
消費電力：57,600kWh/年
排出係数：0.000438t-CO₂/kWh
年間排出量：25t-CO₂

ベースラインより
電力使用量が
削減される。



省電力の照明設備

年間101t-CO₂のクレジット創出

ケース
CASE

2

ボイラーの導入

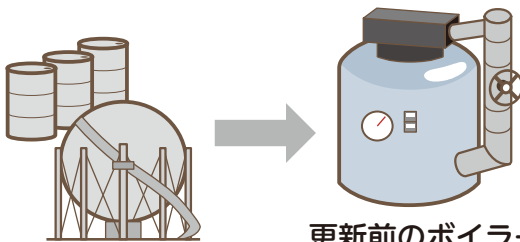
効率のよいボイラーを導入することにより、化石燃料や電力の使用量を削減するプロジェクトです。

【適用条件】 ○標準的なボイラーよりも、効率が良く、原則として都市ガス（又は LNG）又は電気で駆動するボイラーを導入すること

○ボイラーで生産した蒸気又は温水等の熱の全部又は一部を自家消費すること

更新前

燃 料：A重油
エネルギー消費効率：85.5%
生成熱量：4,342GJ/年
排出係数：0.0708t-CO₂/GJ
年間排出量：360t-CO₂



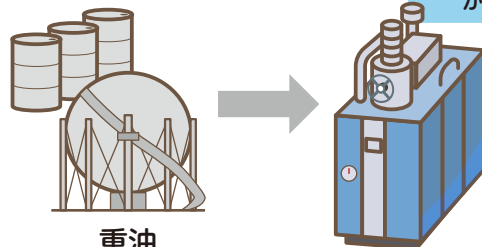
重油
都市ガス等

更新前のボイラー
又は
標準的なボイラー

プロジェクト実施後

燃 料：都市ガス
エネルギー消費効率：86.4%
生成熱量：4,342GJ/年
燃料使用量：112.2千Nm³/年
単位発熱量：44.8GJ/千Nm³
排出係数：0.0513t-CO₂/GJ
年間排出量：258t-CO₂

ベースラインより
エネルギー使用量が
削減される。



重油
都市ガス等

高効率ボイラー

年間102t-CO₂のクレジット創出

ケース
CASE
3

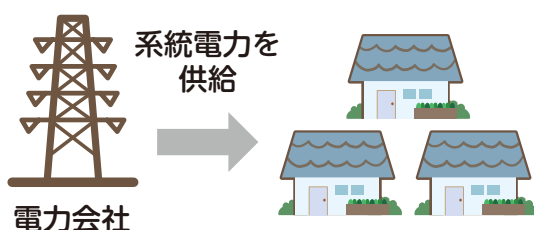
太陽光発電設備の導入（プログラム型）

太陽光発電設備を導入することにより、系統電力等の使用量を削減するプロジェクトです。

- 【適用条件】
- 太陽光発電設備を設置すること
 - 原則として、発電した電力の全部又は一部を自家消費すること
 - 発電した電力が系統電力等を代替するものであること

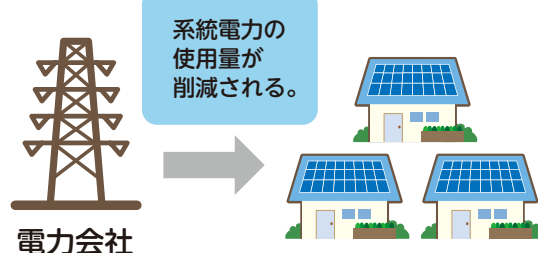
更 新 前

太陽光発電設備がなく、
電力会社から系統電力を供給されている



プロジェクト実施後

設 置 数：住宅153軒
 設 置 容 量：4kW／軒
 発電電力量：4,000kWh／年／軒
 売電電力量：2,500kWh／年／軒
 排 出 係 数：0.000438t-CO₂／kWh
 年間削減量：0.66t-CO₂／軒



年間100t-CO₂のクレジット創出

沖縄県内のJ-クレジット創出

J-クレジット登録事業者一覧

プロジェクト実施者	プロジェクト概要	CO ₂ 排出削減量 (t-CO ₂ /年)
沖縄県企業局	浄水場におけるポンプ・ファン類の更新	815
株式会社青い海	製塩工場におけるボイラーの更新(重油→LPG)	322
有限会社登川商事(ドラゴンボウル)	ボウリング場における照明設備の更新(LED化)	112
国立大学法人琉球大学	大学における太陽光発電設備の導入、変圧器の更新	83
株式会社南都(おきなわワールド)	観光施設における照明設備の更新(LED化)、太陽光発電設備の導入	101
有限会社東南植物楽園	観光施設における照明設備の更新(LED化)	53
有限会社具志川ゴルフクラブ	ゴルフ場における照明設備の更新(LED化)	106
タピック沖縄株式会社(ペアーレ沖縄・タピック)	運動施設における照明設備の更新(LED化)	26
合資会社北谷スポーツセンター (スポーツワールドサザンヒル)	運動施設における照明設備の更新(LED化)	99
タピック沖縄株式会社(ユインチホテル南城)	宿泊施設におけるコージェネレーションの導入(A重油→天然ガス)	160
沖縄綿久寝具株式会社	クリーニング工場におけるボイラーの更新(A重油→LNG)	1,790
株式会社琉球ホテルリゾート那覇 (ダブルツリー-byヒルトン那覇首里城)	ホテルにおけるボイラーの更新(A重油→都市ガス)	256
株式会社みつわ産業	小売店舗における照明設備の更新(LED化)	93
社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院	病院における照明設備の更新(LED化)	137
トーラス株式会社	住宅における太陽光発電設備の導入	148
株式会社饒平エコステーション	住宅における太陽光発電設備の導入	44
沖縄ガス株式会社	事業所におけるボイラーの導入	2,478
株式会社琉球銀行	家庭および事業所における省エネルギー住宅の新築又は 省エネルギー住宅への改修	1,986

事例 沖縄県内のZEH住宅におけるCO₂削減プロジェクト

株式会社 琉球銀行

1 企業の概要

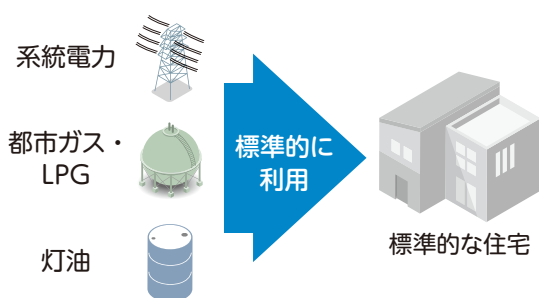
琉球銀行は、1948年の設立以来、「地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展に寄与する銀行」の経営理念のもと、経済活動を支える金融インフラとしての機能だけに留まらず、常に時代の変化を捉え、創意・工夫を活かし、お客さまのニーズに応える金融サービスを提供することで、社会・経済の発展に貢献しています。同時に、地域社会に根ざした良き企業市民としての社会的責任を果たすことを目的に、教育・芸術・文化・スポーツ振興支援や福祉・環境保護活動などのほか、さまざまなボランティア活動にも積極的に取り組んでおります。

2 排出削減事業の概要

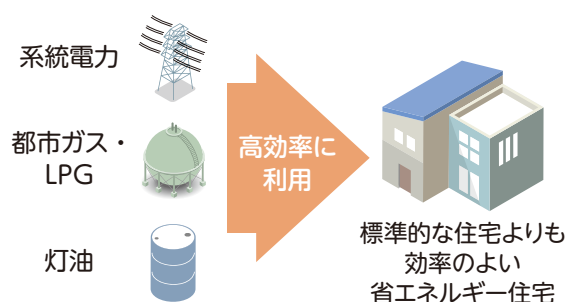
クラブ会員が購入したZEH住宅によるCO₂排出量削減実績をとりまとめ、環境活動へ活用

住宅を新築する際、高効率機器の導入や外壁の高断熱化を実施した省エネルギー住宅（net Zero Energy House:ZEH）にすることで、電力及び化石燃料の使用に伴う温室効果ガスの排出量を削減する。

削減活動実施前



削減活動実施後



クレジット創出見込量

43 t-CO₂

2023年4月～2024年3月



◆ 事業者名 株式会社琉球銀行
◆ 担当者 渡久地 政彦
(総合企画部 サステナビリティ推進室)

◆ 所在地 沖縄県那覇市東町2番1号
◆ U R L <https://www.ryugin.co.jp/>
◆ 連絡先 098-866-1212

3 事業実施の経緯

全国の銀行で初めて※プログラム型プロジェクト登録へ

2022年9月、当行は、ZEH住宅の普及に向け、沖縄県内の建設会社や設計会社と連携する枠組み(Ryukyu net ZERO Energy Partnership)を構築しました。この枠組みでは、ZEH建設に関するセミナーを開催するほか、当行が開発した住宅ローン商品で個人のお客様によるZEH建設・購入を後押ししています。

これらの経緯を踏まえ、沖縄の脱炭素社会実現への貢献の動きを加速できればと考え、J-クレジット制度に参加しました。

2023年11月のJ-クレジット制度認証委員会において、本プロジェクトが承認され、全国の銀行で初めて※「J-クレジット運営管理者」に登録されました。

本プロジェクトでは、ZEH住宅を新築、または新築購入した方を対象に会員を募集し、各ZEH住宅の環境価値を束ねてJ-クレジットとして創出します。創出されたJ-クレジットの売却資金は沖縄県の脱炭素化や環境活動に利用し、沖縄県の脱炭素社会実現を目指します。

※同時期に中国銀行もプロジェクトに登録されています。



4 取り組みの感想・効果

ZEH住宅の環境価値を活用し、沖縄の環境活動に貢献

J-クレジット制度への参加を担当された総合企画部サステナビリティ推進室の渡久地政彦さんは、取り組みの感想を次のように話しています。

“ 琉球銀行のZEH住宅による温室効果ガス削減プロジェクトは、沖縄県の脱炭素社会実現に向けた取り組みです。地域の建設会社や設計会社と協力して、省エネルギー住宅の普及を進めることで、環境に優しい住まいづくりをサポートしています。さらに、J-クレジット制度に参加し、ZEH住宅の環境価値を活用することで、環境活動への資金を生み出し沖縄県内で循環する仕組みを作りました。これにより、沖縄県の環境保全に貢献し、持続可能な未来を目指す一歩となっています。

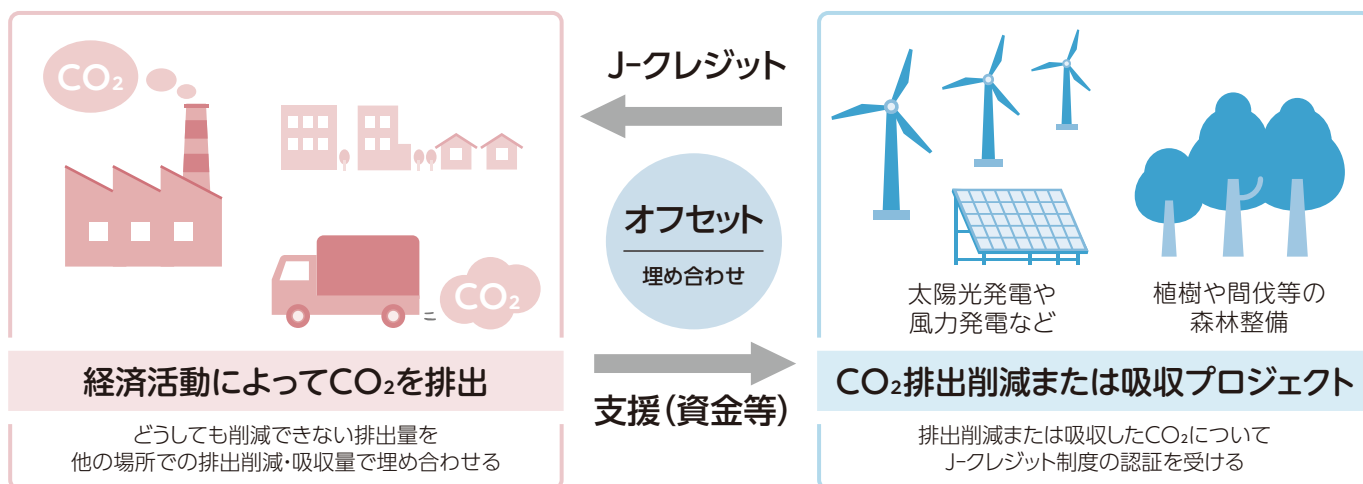
”

J-クレジットの活用 ～カーボン・オフセット～

1 カーボン・オフセットとは

カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動において排出する温室効果ガスについて、できる限り排出量の削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った削減活動に投資することで、排出される温室効果ガスを「埋め合わせる(オフセット)」という考え方です。

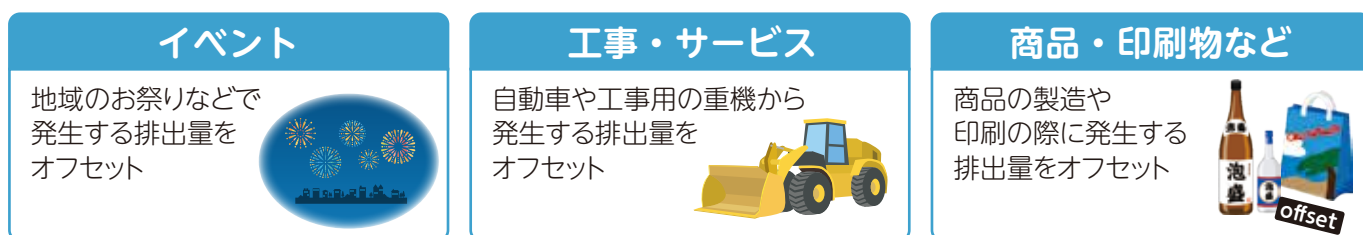
企業等により創出されたクレジットは、各地で開催されるイベントや企業活動などのカーボン・オフセットに活用されています。



2 オフセットの流れ



3 オフセットの種類



4 クレジットの活用例(その他)

● 温対法・省エネ法での活用

温 対 法：調整後温室効果ガス排出量や、調整後排出係数の報告に利用可能です。

省エネ法：省エネルギープロジェクトでのクレジットを省エネ法の共同省エネルギー事業の報告に利用可能です。

● CDP・SBT・RE100での報告に活用

CDP 質問書・SBT：再エネ電力や再エネ熱由来のJ-クレジットを、再エネ調達量として報告することができます。

RE100：再エネ電力由来のJ-クレジットを、再エネ調達量として報告することができます。

5 沖縄県内のカーボン・オフセット事例

イベントの カーボン・オフセット

沖縄県内では、スポーツ、学園祭や地域のお祭り、イルミネーション、セミナーなど、さまざまなイベントのカーボン・オフセットが行われています。

カーボン・オフセットを行うことで、環境に配慮したイベントとしてアピールできます。また、イベント参加者の環境意識を高めることにもつながります。さらに、沖縄県内のJ-クレジットを活用することで、県内企業が行うCO₂排出削減の取り組みを支援できます。

参加者の移動(自家用車)

100台が5km以内の地域から往復



燃費:15.8km/L(ガソリン)
排出係数:2.29kg-CO₂/L

0.1
t-CO₂

参加者の移動(飛行機)

100人が那覇-宮古を往復



那覇-宮古の飛行機利用
片道52.0kg-CO₂/人

10.4
t-CO₂

参加者の移動(シャトルバス)

10台が片道5kmを30往復



燃費:5km/L(軽油)
排出係数:2.62kg-CO₂/L

1.6
t-CO₂

会場の発電機使用

500Lのガソリンを使用



排出係数:2.29kg-CO₂/L
(ガソリン)

1.1
t-CO₂

廃棄物の処理

1,000kgのごみを処理



排出係数:0.29kg-CO₂/kg
(一般廃棄物の場合)

0.3
t-CO₂

イベント期間中の参加者の生活

1,000人が2日間滞在



1日あたりの
排出量6kg-CO₂/人

12
t-CO₂

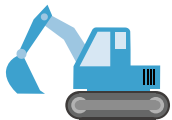
工事の カーボン・オフセット

沖縄県内では、公共工事で使用される建設機械や工事用車両から排出されるCO₂のカーボン・オフセットが積極的に行われています。

工事に伴って排出されるCO₂をカーボン・オフセットすることで、環境に配慮した工事を実施することができ、環境対策に積極的に取り組む企業としてPRすることができます。

バックホウ

20日間稼働



1日40Lの軽油使用
排出係数:2.62kg-CO₂/L

2.1
t-CO₂

ダンプトラック

20日間稼働



1日50Lの軽油使用
排出係数:2.62kg-CO₂/L

2.6
t-CO₂

現場事務所

1年間使用



10,000kWhの電力使用
排出係数:0.710kg-CO₂/kWh

7.1
t-CO₂

工事・調査用車両

年間10,000kmを走行



燃費:10km/L(ガソリン)
排出係数:2.29kg-CO₂/L

2.3
t-CO₂

工事・調査用船舶

20日間稼働



1日100Lの重油使用
排出係数:2.75kg-CO₂/L

5.5
t-CO₂

作業員の通勤(車両)

10人×100日×往復10km



燃費:15km/L(ガソリン)
排出係数:2.29kg-CO₂/L

1.5
t-CO₂

第72回 琉大祭

国立大学法人 琉球大学



「第72回琉大祭」における発電機の燃料使用、参加者の移動(学内駐車場の使用可能場所を自家用車で利用)、廃棄物の処理に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(おきなわ美ら島カーボンクレジット)

12 t-CO₂

第47回 沖縄の産業まつり

沖縄の産業まつり実行委員会



「第47回沖縄の産業まつり」における臨時巡回バスの燃料使用、電気使用、廃棄物の処理に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(おきなわ美ら島カーボンクレジット)

5 t-CO₂令和5年度 おきなわアジェンダ21県民会議
県民環境フェア in なは

おきなわアジェンダ21県民会議



「令和5年度おきなわアジェンダ21県民会議 県民環境フェアinなは」における出展者車両・来場者車両・会場内の電気使用に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(おきなわ美ら島カーボンクレジット)

4 t-CO₂りゅうぎんプレゼンツ
ナイスハートバザール

株式会社 琉球銀行



「第39回ナイスハートバザールイン沖縄」「第8回ナイスハートバザールイン宮古」「第6回ナイスハートバザールイン石垣」における来場者の車両の走行に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(おきなわ美ら島カーボンクレジット)

4 t-CO₂

潮乃森ビーチフェスタ2023

沖縄市 東部海浜開発局



「潮乃森ビーチフェスタ2023」におけるシャトルバスおよび発電機の燃料使用に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(おきなわ美ら島カーボンクレジット)



3 t-CO₂

令和5年度 エネルギー使用合理化シンポジウム

内閣府沖縄総合事務局



「令和5年度エネルギー使用合理化シンポジウム」における来場者・関係者の車両の走行に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(おきなわ美ら島カーボンクレジット)



1 t-CO₂

沖縄MICEプロジェクト2023交流会

沖縄県・(一財)沖縄観光コンベンションビューロー



沖縄県および(一財)沖縄観光コンベンションビューローは「沖縄MICEプロジェクト2023交流会」において、会場施設の電気使用および発電機使用に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(おきなわ美ら島カーボンクレジット)



1 t-CO₂

令和5年度MICE受入体制強化等事業 J-クレジット制度を活用したコンgresバッグ製作業務

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー



「MICEコンgresバッグ」の原材料調達、輸送、流通に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(おきなわ美ら島カーボンクレジット)



19 t-CO₂

海洋環境を考える・アクションを見える化して繋げる
観光WEBサイトを活用したサステナブルツーリズム

株式会社 okicom



株式会社okicomが企画・運営した「海洋環境を考える・アクションを見える化して繋げる観光WEBサイトを活用したサステナブルツーリズム」において、国内旅客航空機及びバスの利用、宿泊、朝食を除く外食に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(おきなわ美ら島カーボンクレジット)



9 t-CO₂

自家用車、自家用自動二輪車

一般財団法人沖縄県環境科学センター職員A氏



自家用車および自家用自動二輪車の使用に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。
(2022年8月25日～2023年8月24日)

利用したクレジット

J-クレジット(おきなわ美ら島カーボンクレジット)



2 t-CO₂

沖縄大交易会公式ガイドブック

沖縄大交易会実行委員会



「沖縄大交易会2023公式ガイドブック」の原材料調達・印刷・流通・廃棄に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(おきなわ美ら島カーボンクレジット)



2 t-CO₂

環境調査

一般財団法人沖縄県環境科学センター



現地調査の調査車両の走行に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-VER(米川生産森林組合)



2 t-CO₂

行内報かいぎん

株式会社 沖縄海邦銀行



「行内報かいぎん2023年9月号vol.70」

「行内報かいぎん2024年1月号vol.71」

の原材料調達、生産時の電力使用、輸送に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(おきなわ美ら島カーボンクレジット)



2 t-CO₂

第6回美ら島商談会DX篇 開催記録集
第7回美ら島商談会DX篇 開催記録集

(株)沖縄銀行 法人事業部 地域活性化グループ



「第6回美ら島商談会DX篇 開催記録集」

「第7回美ら島商談会DX篇 開催記録集」

の原材料調達、生産時の電力使用に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(おきなわ美ら島カーボンクレジット)



2 t-CO₂

パンフレット(2023年発行)

一般財団法人沖縄県環境科学センター



一般財団法人沖縄県環境科学センターのパンフレット
1,500部の印刷に伴い排出されたCO₂のカーボン・
オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(株式会社青い海)



2 t-CO₂

2023年度 J-クレジット制度活用事例集

一般財団法人沖縄県環境科学センター



「2023年度J-クレジット制度沖縄地域活用事例集」の
原材料調達・印刷・流通・廃棄に伴い排出されたCO₂の
カーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(株式会社青い海)



1 t-CO₂

渡名喜漁港第3沖
防波堤消波ブロック製作工事(R5-2)

株式会社 高橋土建



沖縄県南部農林土木事務所発注の「渡名喜漁港第3沖防波堤消波ブロック製作工事(R5-2)」において使用するクローラークレーン吊り込み機、ラフテレーンクレーン吊り込み機、コンクリート打設機の稼働及び現場休憩所の電気の使用に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(おきなわ美ら島カーボンクレジット)



29 t-CO₂

玉城青少年の家改築工事(研修棟・電気)

マエダ電気工事(株)・大協電気工事(株)
特定建設共同企業体



玉城青少年の家改築工事(研修棟・電気)において、自動車(職員及び作業員の通勤車両)の使用に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



14 t-CO₂

武富地区急傾斜地崩壊防止施設
緊急改築工事(R4-1)

株式会社 第一建設



武富地区急傾斜地崩壊防止施設緊急改築工事(R4-1)において使用するクレーンの稼働、作業員の通勤車の走行に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



10 t-CO₂

松島中学校屋内運動場及び
プール等改築工事(電気)

マエダ電気工事株式会社



「松島中学校屋内運動場及びプール等改築工事(電気)」における、現場作業員の通勤車両の走行に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



1 t-CO₂

令和5年度 南部国道管内照明更新工事

マエダ電気工事株式会社



沖縄総合事務局南部国道事務所発注の「令和5年度南部国道管内照明更新工事」において、自動車(職員及び作業員の通勤車両)、高所作業車、移動式クレーン車の使用に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(おきなわ美ら島カーボンクレジット)



9 t-CO₂

令和5年度 南部国道浦添地区照明灯設置工事

マエダ電気工事株式会社



沖縄総合事務局南部国道事務所発注の「令和5年度南部国道浦添地区照明灯設置工事」において、自動車(職員及び作業員の通勤車両)、高所作業車、移動式クレーン車の使用に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(おきなわ美ら島カーボンクレジット)



8 t-CO₂

本庁舎照明改修工事

マエダ電気工事株式会社



那覇市発注の「本庁舎照明改修工事」において、現場職員の通勤車両の走行に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(おきなわ美ら島カーボンクレジット)



6 t-CO₂

令和5年度 海洋博公園電気設備改修工事

マエダ電気工事株式会社



沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所発注の「令和5年度海洋博公園電気設備改修工事」において、現場職員の通勤車両の走行に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



5 t-CO₂

安里川河川改修工事 (R5-1)

南洋土建株式会社



沖縄県土木建築部南部土木事務所発注の「安里川河川改修工事 (R5-1)」において、自動車(職員及び作業員の通勤車両)及び電気(現場事務所)の使用に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



14 t-CO₂

令和4年度 小禄道路橋梁下部工 (P21D) 工事

南洋土建株式会社



沖縄総合事務局南部国道事務所発注の「令和4年度小禄道路橋梁下部工 (P21D) 工事」において、自動車(職員及び作業員の通勤車両)及び電気(現場事務所)の使用に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



12 t-CO₂

名護本部線渡久地橋下部工工事 (A2)

金秀建設株式会社



沖縄県土木建築部 北部土木事務所発注の「名護本部線渡久地橋下部工工事 (A2)」において、現場職員の通勤車両の走行に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(おきなわ美ら島カーボンクレジット)



9 t-CO₂

伊良波汚水中継ポンプ場破砕機取替工事 (R4-5工区)

株式会社 那覇電工



豊見城市発注の「伊良波汚水中継ポンプ場破砕機取替工事 (R4-5工区)」において、現場作業車及び作業員の通勤に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



1 t-CO₂

普天間(4補)隊舎(431)
改修電気その他追加工事

株式会社 那覇電工



沖縄防衛局発注の「普天間(4補)隊舎(431)改修電気その他追加工事」において、現場作業車及び作業員の通勤に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



8 t-CO₂

沖縄県北部保健・福祉合同庁舎
高圧ケーブル修繕

株式会社 那覇電工



沖縄県北部保健所発注の「沖縄県北部保健・福祉合同庁舎高圧ケーブル修繕」において、現場作業車及び作業員の通勤に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



2 t-CO₂

沖縄県立博物館・美術館
高圧ケーブル・PAS開閉器
更新工事業務委託

株式会社 那覇電工



沖縄県立博物館・美術館発注の「沖縄県立博物館・美術館高圧ケーブル・PAS開閉器更新工事業務委託」において、現場作業車及び作業員の通勤に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



1 t-CO₂

道路外灯その他の更新

株式会社 那覇電工



那覇航空基地隊発注の「道路外灯その他の更新」において、現場作業車及び作業員の通勤に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



1 t-CO₂

臨港道路道路照明修繕(R5)

株式会社 那覇電工



那覇港管理組合発注の「臨港道路道路照明修繕(R5)」において、現場作業車及び作業員の通勤に伴い排出されたCO₂のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



1 t-CO₂



ロゴマークデザインについて

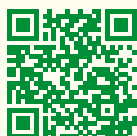
「変える」をコンセプトに、削減したCO₂を環境価値に変えること、世界的な環境問題である地球温暖化を沖縄から変えていこうという想いを込めてデザインされたロゴマークです。

詳しくは WEB をご覧下さい



J-クレジット制度について

<http://japancredit.go.jp/>



沖縄県内の制度参加、 カーボン・オフセットの支援について

<https://www.okikanka.or.jp/information/j-cre/>

お問い合わせ先：

内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 エネルギー・燃料課

〒900-0006 那覇市おもろまち2-1-1 那覇第2地方合同庁舎2号館
TEL 098-866-1759

一般財団法人 沖縄県環境科学センター

〒901-2111 浦添市字経塚720番地
TEL 098-875-5208

本紙の原材料調達、生産時の電力使用、製品の流通、廃棄に伴って排出されたCO₂は、沖縄県内の事業者が実施した排出削減事業によって創出されたJ-クレジットでカーボン・オフセットします。



この印刷物は、E3PA のゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています。

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。